

同 定 結 果 報 告 書

平成 23 年 1 月 26 日

●●大学 ●●研究室 ●● 殿

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2 丁目 5 番 2 号
電話 03 (3406) 1724

株式会社 セ ル コ
代表取締役 赤澤 豊

以下のとおり、同定いたしました。

記

同定担当者

氏 名：飯島 幸子 印
所 属：株式会社セルコ 環境事業部
保有資格：生物分類技能検定 1 級（植物部門）

サンプルの形状等

サンプル受け取り日：平成 22 年 12 月 17 日
サンプルの状態：乾燥標本のビニール袋詰め
サンプルの内容：植物
発見場所：千葉県野田市 江戸川野田橋
採集場所：千葉県野田市 江戸川野田橋

同 定 結 果

同定結果：別紙

詳細は、別紙参照のこと

以上

管理 1	管理 2	管理 3

同 定 結 果 票

同定者 氏名	飯島 幸子	印 印	所属	株式会社 セルコ
-----------	-------	--------	----	----------

サンプル No.	同定結果		
	和名	学名	備考
No.1-2	フジ	<i>Wisteria floribunda</i>	
No.2-2	オオカナダモ	<i>Egeria densa</i>	
No.2-3	タチヤナギ	<i>Salix subfragilis</i>	
No.2-4	コウガイモ	<i>Vallisneria denseserrulata</i>	
No.4	オギ	<i>Miscanthus sacchariflorus</i>	
No.4	不明	—	
No.4-2	ミズヒマワリ	<i>Gymnocoronis spilanthoides</i>	特定外来種
No.4-2	タチヤナギ	<i>Salix subfragilis</i>	
No.4-3	ケヤキ	<i>Zelkova serrata</i>	
No.4-3	タチヤナギ	<i>Salix subfragilis</i>	
No.4-3	ヨシ	<i>Phragmites australis</i>	
No.4-4	オギ	<i>Miscanthus sacchariflorus</i>	
No.4-5	キシギシ属の一種	<i>Rumex</i> sp.	
No.5-2	タケ亜科の一種	BANBUSOIDEAE	
No.5-2	イチヨウ	<i>Ginkgo biloba</i>	
No.5-2	ホテイアオイ	<i>Eichhornia crassipes</i>	要注意外来種
No.5-2	タチヤナギ	<i>Salix subfragilis</i>	
No.5-2	タブノキ	<i>Machilus thunbergii</i>	
No.6	オオイヌタデ	<i>Persicaria lapathifolia</i>	
No.6	キシギシ属の一種	<i>Rumex</i> sp.	
No.6	オギ	<i>Miscanthus sacchariflorus</i>	
No.6	キク科の一種	Compositae	
No.6-1	タチヤナギ	<i>Salix subfragilis</i>	
No.6-1	オオカナダモ	<i>Egeria densa</i>	
No.6-1	ヒルムシロ属の一種	<i>Potamogeton</i> sp.	
No.6-1	ガマ属の一種	<i>Typha</i> sp.	
No.6-2	アレチキシギシ	<i>Rumex conglomeratus</i>	
No.6-4	マテバシイ	<i>Lithocarpus edulis</i>	

参考文献: 千葉県の実地誌別冊4千葉県植物誌他

No. 1-2
フジ



No. 2-2
オオカナダモ



No. 2-3
タチヤナギ



No. 2-4
コウガイモ



No. 4
オギ



No. 4
不明



No. 4-2
ミズヒマワリ



No. 4-2
タチヤナギ



No. 4-3
ケヤキ



No. 4-3
タチヤナギ



No. 4-3
ヨシ



No. 4-4
オギ



No. 4-5
ギシギシ属の一種



No. 5-2
タケ亜科の一種



No. 5-2
イチヨウ



No. 5-2
ホテアオイ



No. 5-2
タチヤナギ



No. 5-2
タブノキ



No. 6
オオイヌタデ



No. 6
ギシギシ属の一種



No. 6
オギ



No. 6
キク科の一種



No. 6-1
タチヤナギ



No. 6-1
オオカナダモ



No. 6-1
ヒルムシロ属の一種



No. 6-1
ガマ属の一種



No. 6-2
アレチギシギシ



No. 6-4
マテバシイ



< サンプルの生育環境：1 / 2 >

< オギ：サンプル No. 4、4-4、6 >

・県内全域の河川敷や水湿地に生育する、高さ 1.5m 程度になる多年草。今回のサンプルは利根川及び流入河川の水際などに生育していたものと考えられる。

< ヨシ：サンプル No. 4-3 >

・水辺にきわめて普通な多年草。今回のサンプルは利根川及び流入河川の水際などに生育していたものと考えられる。

< オオイヌタデ：サンプル No. 6 >

・路傍、田畑の縁、荒地等に普通な高さ 1 m 以上になる 1 年草。今回のサンプルは利根川及び流入河川の水際などに生育していたものと考えられる。

< ミズヒマワリ：サンプル No. 4-2 >

・南アメリカ中部産の抽水性の多年草。アクアリウム用の水草として栽培され、各地で逸出しているが、外来生物法で特定外来生物に指定されている。利根川及び流入河川の水際などに生育していたものと考えられる。

< ガマ属の一種：サンプル No. 6-1 >

・抽水性の多年草。今回のサンプルは利根川及び流入河川の水際などに生育していたものと考えられる。

< オオカナダモ：サンプル No. 2-2、6-1 >

・湖沼、ため池、河川下流部、水路などに生育する。南米原産の帰化植物。今回のサンプルは利根川及び流入河川の河床などに生育していたものと考えられる。

< コウガイモ：サンプル No. 2-4 >

・平地の湖沼、ため池、河川、水路などに生育する多年生の沈水植物。今回のサンプルは利根川及び流入河川の河床などに生育していたものと考えられる。

< ヒルムシロ属の一種：サンプル No. 6-1 >

・水中に生える多年草。今回のサンプルは利根川及び流入河川の河床などに生育していたものと考えられる。

< ホテイアオイ：サンプル No. 5-2 >

・湖沼、ため池、河川水路などに群生する熱帯アメリカ原産の多年草。葉柄の中部がふくらみ水面を浮遊する。外来生物法で要注意外来生物に指定されている。今回のサンプルは利根川及び流入河川の河道内や周辺の水路等に生育していたものと考えられる。

< サンプルの生育環境：2 / 2 >

< アレチギシギシ：サンプル No. 6 - 2 >

・路傍や荒地に生育する多年草。ヨーロッパからアジア大陸原産の帰化植物。今回のサンプルは利根川及び流入河川の高水敷などに生育していたものと考えられる。

< ギシギシ属の一種：サンプル No. 4 - 5、6 >

・道端や畑地、野原などに生育する1年草または多年草。今回のサンプルは利根川及び流入河川の高水敷などに生育していたものと考えられる。

< キク科の一種：サンプル No. 6 >

・道端や野原などに生育する1年草または多年草。今回のサンプルは利根川及び流入河川の高水敷などに生育していたものと考えられる。

< タチヤナギ：サンプル No. 2 - 3、4 - 2、4 - 3、5 - 2、6 - 1 >

・河川敷、水田、沼の岸に多い、落葉低木から高木。今回のサンプルは利根川及び流入河川の水際や高水敷などに生育していたものと考えられる。

< ケヤキ：サンプル No. 3 - 4 >

・段丘崖の北斜面下部や沢沿に生え、街路樹、公園に植栽される落葉高木。今回のサンプルは利根川上流部の樹林のものか、公園などに栽培されていたものであると考えられる。

< タブノキ：サンプル No. 5 - 2 >

・海に近い斜面などに生え、街路樹、公園に植栽される常緑高木。今回のサンプルは利根川河岸の樹林のものか、公園などに栽培されていたものであると考えられる。

< マテバシイ：サンプル No. 6 - 4 >

・自然分布は九州地方で、千葉県内に移入されたのは江戸時代の後期と考えられる。海岸地帯や公園に植栽される常緑高木。今回のサンプルは公園などに栽培されていたものであると考えられる。

< イチョウ：サンプル No. 5 - 2 >

・中国原産で公園や街路などに良く植栽される落葉高木。今回のサンプルは利根川周辺の栽培起源のものであると考えられる。

< フジ：サンプル No. 1 - 2 >

・林縁や明るい樹林内、堤防などに生育するツル性の落葉木本。今回のサンプルは利根川の堤防上や周辺の林縁などに生育していたものと考えられる。

< タケ亜科の一種：サンプル No. 5 - 2 >

・樹林内や河岸に生育する草本または木本。今回のサンプルは利根川及び流入河川の河岸などに生育していたものと考えられる。

参考文献：千葉県の自然誌別冊4 千葉県植物誌他